

平成14年度まちづくり懇談会記録



入 善 町

目 次

入 善 地 区	1
上 原 地 区	7
青 木 地 区	13
飯 野 地 区	19
小 摺 戸 地 区	26
新 屋 地 区	34
櫛 山 地 区	40
横 山 地 区	48
舟 見 地 区	53
野 中 地 区	63

入善地区まちづくり懇談会

日時：平成14年11月30日（土）

午後7時30分～

会場：武村福社会館

1. あいさつ
2. 町長あいさつ
3. 懇談会

市町村合併について

○ 住民

現在、合併ありきという認識をしている。各メディアの論調を見ると今回の合併は大変強制的な傾向であるが、これについて当局はどのようにして考えているか。

次に地方分権ということが叫ばれているが、財源の委譲を補わない地方分権というのが一人歩きしていることが実態であると感じている。このような、不完全な状態で、今後合併という問題が将来にとってどう影響を与えると考えるか。

政府の指導をしていた地方分権の改革推進会議の詳細を見ると、補助金をどこでどのようにカットしていくか論議された時代があったが、現在は「地方に渡す財源はない。」といている。町長をはじめ、全国の市町村のトップがどのような努力をしてきたのか疑問に感じている。

合併はいいことばかりに聞こえるが、鹿児島県の徳之島3町の例として、合併の4年後は赤字となり、470人の職員は、6割弱になるという事がわかった。新川広域圏で合併した場合、このような問題について考えられているのか。

合併後の旧入善町の未来は、どのようなになるのか。例えば福祉問題について、どのような未来図を描かれているのか。

地域格差問題が広がらないためにどのような対処をされるのか。朝日町では、あさひ総合病院を新築し、黒部市では、新幹線に伴う若栗地区の改革を行っていくが、入善町はどのような改革されるのか。

● 助役

合併は、強制的ではないかという問題であるが、去る9月の選挙で、2市3町、17年3月までに合併すると財政援助があるということで、町長は公約に掲げて町民の支持を得たので、入善町に限っては、強制的ではないと考えている。

地方分権のことについては、財源の伴わない地方分権はいいらないことは、まさにそのとおりである。国の方は、補助金、負担金を縮減、削減する。あるいは交付税を少なくする方向で見直しする。来年の6月頃までに決定する予定である。

合併後の旧入善町の将来像については、現在事前協議の段階であるので、協議会ができしだい、新市町村計画を立てていきたいと考えている。

- 町長

地域格差問題について、入善町は、ただ物を建ててそれで賑わいが起きるのか町民の皆さんと考えていきたいと思っている。

東洋紡寮の跡地問題であるが、町としては、土地を何かの形で利用していきたい。どのように利用するかは、東洋紡、議会と話しあいながら、市街地の活性化を図るためにも、これらの問題について取り組んでいきたい。

- 総務課長

新川広域圏で合併した後の職員の問題であるが、リストラではないかという意見もあるが、考え方を換えれば行財政改革という考え方もある。現在、2市3町の総職員数は、1710名であり、合併後は1310名でやっていかなければならない。約400名が減数となる。

採用と退職の関係を調整しながら5、6年かけてこの問題について取り組んでいきたいと考えている。その総人件費37億円であるが、財政が厳しいため、合併すると考えれば、非常にメリットではないかと考えている。

- 町民

町長は、2市3町で合併を進めていくという公約のもとで支持されたが、魚津市は、このことについて、拒否状態であると報道されている。町長はこの問題についてどのように考えられているか。

- 町長

魚津市民のアンケートを見ると。約50%以上が、滑川市との合併を望んでおり、約30%の市民が、2市3町との合併を望んでいる。約20%の差があり魚津市長がどのように決断されるか、入善町としては魚津市の出方を待っていたほうが良いのではないかと考えている。

○ 町民

1市3町で合併し、入善町が中心となって行政を進めてもらいたいと考えている。

○ 町民

少子高齢化の進行と人口減少ならびに行財政問題が合併の根本問題のように聞いたが、少子高齢化している町同士が合併をおこなっても、プラスになるとは、考えられない。スケールメリットという新しい言葉をきいたが、言い換えれば小さな鍋よりも、大きな鍋の方がいいという説明であった。実際問題として、通勤、通院の問題など、身近な問題が解消される目安があるのですか。そういう部分が全く見られないと、町民、住民のための合併ではなく官庁の方の合併ではないかという疑問を持つが、どう考えているか。

● 総務課長

合併することによって人口増加するのかということについて、合併しても人口が増加するとは考えられないが、基盤を強くして国の支援がなくても生き残るために、手をつないで取り組んでいくことが目標である。このままでいくと、入善町の自主財源が約3分の1であり、職員の給料しか支払うことができない。現在は、国の支援があるのでやっていけるが、国もお金がないため、スケールメリットを活かした行政をおこなうように指導している。国からの支援がなくても、行政を運営していけるような、足腰の強い自治体を作っていきたいというのが、合併の大きな要因である。

○ 町民

朝日町は、あさひ総合病院の新築のため、約100億円の負債を抱えて合併するわけであるが、少子高齢化の問題もあるのに、入善町に影響はないのか。

● 助役

あさひ総合病院の新築のための約100億円の返済については、国と県からの補助金は約3億円、残りの97億円は借金である。このうちの3分の2は交付税であり、3分の1は診療報酬で返済するという仕組みである。しかも、あさひ総合病院は公営企業であるため入善町の負担になることはありません。

○町民

合併することによって、国から補助金をもらえるが、その補助金はどのような点で有利であり、どのように予算づけされるのか。

● 財政課長

国や県からの補助金があるが、合併協議会に対する運営費、各市町村の計画を進めるための事務的なものに対する費用負担、それから、一番大きいものとして、新しい事業に取り組んでいく場合の、起債の借り入れの許可と、それを、借りた場合に、75%が交付税の中で国が面倒をみってくれる。

○ 町民

中央線は、平成15年に完成すると聞いていたが、8号線まで、計画どおりに完成するのか。また、町として完成させる意志があるのか。

● 助役

中央通り線については、富山県の入善土木事務所が、中心となって行っている。現在、用地問題があると聞いている。しかし、町としては、多少遅れるかも知れませんが完成させる予定である。

○ 町民

2市3町で合併した場合、議員数は約34名と聞いているが、そうなりますと選挙は大選挙区制でおこなわれるのか。または入善町に何名といった固定されたものでおこなわれるのか。また、現在の入善町役場はどのように利用されるのか。

● 総務課長

はじめは中選挙区制でおこなわれるが、最終的には大選挙区制でおこなう予定である。しかし、人口の少ない宇奈月町から議員が少なくなるとも考えられるので、これから話し合いをおこなって決めていきたい。合併後の入善町役場は、市役所または地区センター、区所といった形で住民のみなさんの利便性を図っていきたいと思っている。

○ 町民

前回も参加しお願いしたが、討議資料が少ない。町職員が資料を読んでいるだ

けでは、住民は何も判断できない。総務課長に次回まで、多くの資料をまとめていただけるようお願いしておいたがどうなったのか。

市町村合併ということで、私たちは、入善町が今後どのようなになるか心配で出席している。入善町役場職員は公務で来ているが、入善町民が46名しか出席されていないことをどう考えられているか。

日本電気(株)は、何ヶ月という期間で退職者を募っている。町は5、6年かけて退職者を募る計画であると発表されましたがそれで、片づけようという考えなのか。

入善町は、合併後2～3割の予算を確保できるのか。

また協議会をつくって話を進められると思うが、民意をすべて吸収して発表されるのか。

- 助役

民意をどのように把握するかという問題であるが、今は事前協議の段階であるため、時間がかかるが民意を尊重するためにも、まちづくり懇談会を開いて町民のみなさんの意見を聞いている状態である。

討議資料が少ないという問題であるが、2市3町になるか1市3町になるのか、まだ決定していないので、資料を町民の皆さんの前に揃えることができないことをお許してください。

- 町民

現在、入善町には、東部、西部、南部と3つの保育所がありますが、合併した場合現状維持で進めていくのか、または、統合させるのか。

- 町長

しばらくは、現状維持の状態で運営をしていきたいと考えている。

- 町民

今回のまちづくり懇談会では、参加者全員が50代以上であり、若者の参加がないことをどのように考えているか。

高速道路の問題であるが、黒部市、朝日町にはインターがあるが、入善町にはない。高速道路のインターを建設するなど、大きなビジョンをもって前向きに進めていただきたい。

- 町長

これから、協議会を立ち上げた時に、協議にかけていきたいと思う。

閉会

上原地区まちづくり懇談会

日時：平成14年12月2日（月）

午後7時30分～

会場：産業展示会館

1. あいさつ
2. 町長あいさつ
3. 懇談会

第1部 市町村合併とまちづくりについて

○ 住民

合併は町主導で指導しているが、住民に理解されていないように思う。もっと小さい町内単位の説明会を行ったらどうか。

● 企画広報課長

町からきめ細やかな説明し、住民の意見を吸い上げてほしいとの意見だと思うが、基本的に説明会は行政地区単位で行うこととしている。小単位の説明会については、出前講座を利用していただければ職員が合併の説明に出向く。

○ 住民

平成の大合併は、時代の流れ。国の財政危機、時代の変化を考えれば合併は避けてとおれないと私は思う。

○ 住民

2市3町という合併の枠組みで説明しているが、魚津市は滑川市に向いていたりしている。現在、枠組みの協議はどのあたりまで進んでいるのか。

● 町長

第1回の合併懇談会でのアンケート結果や商工会の若手職員で作る会のアンケート結果から2市3町という意見は、半数以上だが、1市3町という要望も多い。魚津市の出方がはっきりしないが、合併するからには2市3町と考えている。時間に制限があり、いずれ決断の時期が来る。来年3月議会が、その期限と思っている。

- 住民

上原地区では、8号線バイパス、都市計画道路など現在着手中の事業がある。合併したあとの事業計画やまちづくり計画を教えて欲しい。

- 助役

合併後も現在の事業計画を十分に反映していかなければならないと思っている。

- 住民

合併する一因として、住民の行動範囲の広域化を挙げていたが、広域化で逆に不便な点が出てくるのではないか。車の運転ができないお年寄りやその送り迎えをする家族の負担に対してのサービスは考えているのか。

- 総務課長

合併によって役所など遠くなって不便になるのではないかと不安がられると思うが、今の役場は地区センターや支所として残るので、窓口サービスについては、今までと変わらないと思う。また、不便になってはならないので、要望し対応していく。

- 住民

合併したらあなたの地区はこう変わりますなどの明るい展望を提供し、町にまかせておけというような強いリーダーシップが必要と考える。

- 町長

よりよい町づくりに頑張っていきたい。支援をお願いしたい。

- 住民

合併協議会の協議内容、そこで取り上げられた問題点など協議の内容をタイミングよく住民に知らせて欲しい。

- 総務課長

協議内容を住民に情報公開していく方針でいる。

○ 住民

入善町としてどうしても受け入れられない事態が生じた場合は、協議会から離れる気はあるか。

● 町長

町民のマイナスになるようであれば、合併しないとの判断もある。ただ、合併しないで今後10年はやっていけると思うが、20年30年先のことを考えると合併は避けてとおれない。が、あまりにも負担をかけることがあれば、脱退もあり得るが、そういうことにならないよう進めていきたい。

○ 住民

先ほど質問が出たが、広域化になった場合、お年寄りの送り迎えが大変で負担になる。その具体的な対応策は。

● 総務課長

送り迎えの具体的な状況が判断できないが、役所の窓口については先ほど言ったとおり、今より不便になることはない。また、町営バスも合併すればもちろん広域化運営になり、ある程度の足の確保になると思う。町としても協議会へ要望していきたい。

○ 住民

現状で合併しない場合の権限移譲と財政確保の見通しはどうか。

● 財政課長

権限移譲に伴う財源の変化など、今、国会で協議しているのが現状。町の財政は、10年は持つと思うが、国では、三位一体の改革や地方交付税の見直しをかけている。権限移譲、財政の移譲は先送りにされており、不透明な部分が多い。

○ 住民

合併する要因として少子化をあげているのに、学校問題を取り上げていない。小学校、中学校の校区や通学路についてどう変わるのか。

● 教育長

合併したら新しい教育委員会が組織されるが、学校のあり方は協議会で取り扱われ

る。合併したら即、学校がなくなるということはない。見直しを図ることはあるだろう。

- 町長

舟見中学校は現在 80 名。将来的には、昔、組合立となっていた枠組みになるということも考えられる。ただ、合併したらなくなるということはない。上青小学校は、合併当時 500 人以上の生徒数が、20 年経って 280 名。10 年経つと世の中の状態も変わっていくので、そのつど考えていかななくてはならない。もし、広域化になったとしても年中スクールバスにするなど通学の足の確保は考えるべき。

- 住民

合併の方向に進むものと思っているが、協議会で入善町が PR したいところ、強く打ち出したいポイントは。

- 町長

入善町の豊かな「土地、水、人」・「深層水」をアピールしていきたい。入善町の財産として活性化のためにつかっていきたい。

- 住民

今の段階で町単独ならこうなるという説明はあったが、2 市 3 町で進めてもいずれ少子高齢化となるだろう。そうした見通しは。

- 財政課長

国から補助金などの財政措置がある。各市町村の財政力指数も基盤も違う。合併により財政の基盤を作ることをひとつの目標とし、国では人口 1 万人以下の自治体に自助努力をすすめている。基盤を高めるために底辺の基盤を基礎として財政力を養っていかななくてはいけないと考えている。

- 住民

新庁舎の予定地は。

- 町長

これから合併の枠組みを決めてからの話。市の名前、庁舎など今後の議題である。

第2部 地域要望事項

(1) 旧上原小学校校舎のとりこわしについて

- 住民

旧上原小学校校舎は廃墟になっているので、防犯の点からも取り壊しを考えてほしい。

- 財政課長

廃墟ではなく、現在も利用していただいている。取り壊しとなれば、4団体利用しているので、協議が必要。利用方法を検討していきたい。

(2) 体協の倉庫と総合体育館の使用料について

- 住民

旧上原小には、体協の備品を預けている。取り壊しなら、代わりの倉庫をお願いしたい。また、総合体育館のメインアリーナの使用料を減額して欲しい。現在の使用料は、半日で4000円。黒部市は3300円。黒部市では、地区体協が使用すると半額になる。冷房代も黒部市に比較して高い。体協の活動には、減額するよう検討していただきたい。

- 財政課長

体育館を使用する時には、町主催、後援などそれぞれ減免措置がある。地区体協という捉え方はなかったので検討していきたい。

(3) 生活者のための安全な道路について

- 住民

「歩行者が安心できるくらしのみちゾーン」を要望する。上原から吉原へ縦断する

道路は、通学路であり、生活道である。車の交通量が増えたことにより危険が増してきたので、生活者優先道路として提案したい。登校時に車を規制したり、自転車・歩行者専用道路を整備したり、幹線道路を確保したらどうだろうか。

- 総務課長

歩行者優先というのは大切である。が、車優先の道路が現状。道路幅を広げるには、土地提供や財政面の問題などいろいろある。例えば、旧国道には高齢者福祉ゾーンがあるように道路を管理する場所にもよるが、関係と協議していきたい。

閉会

青木地区まちづくり懇談会

日 時：平成14年12月1日（日）

午後7時30分～

会 場：広域働く婦人の家

- 1．あいさつ
- 2．町長あいさつ
- 3．懇談会

（１）市町村合併について

○ 住民

日頃から、インターネットで県などからの情報を収集していて、住民の意見の収集をもう少し行ったほうがいいと思っている。

先ほどの説明の中でアンケート結果の報告があったが、このアンケートは合併懇談会に来た人だけが対象となっており、もっと母数を大きくしてアンケートをする必要があるのではないか。その際、アンケートの対象は、年齢、性別、地域など偏りなく抽出し、内容についても、日頃、どこで買い物するとか、どこの病院に行くとか、どこの自治体の道路の整備状況がいいとか、わかりやすくすればいいのではないかと考える。

次に、合併後、財政的なものはどうなるのか。いろいろな不安があると思うが、例えば税や保険料はどのようになるのかといったことなど、丁寧に住民から収集すれば、もっと具体的に検討できると考える。

● 総務課長

合併をする・しないの調査としてのアンケートについては、町長が前回の合併懇談会の雰囲気や選挙戦を通じて合併は避けては通れないと判断されたので、特例期限も考慮すると今となっては必要ないと思われる。

確かに合併懇談会に来た人だけのアンケート結果ではあるが、これが仮にアンケートをとる範囲を広げても、結果は一緒になるのではないかと考えられる。

また、合併懇談会の参加が少なかった若者の意見の集約やまちづくりの意見集約については、アンケート等で対応することを考えられるが、具体的にまだ決まっていない状態であり、今後検討していきたい。

- 財政課長

現在、入善町の財政力は、0.5であり、1を基準とすると半分しかなく、地方交付税への依存が大きいと言える。この0.5という状況で、今までやってこられたのは、国の方策として、地方交付税等があったからである。

この地方交付税は、2割相当が削減されてくると言われており、また、来年6月を目途にこの制度をどのようにするか検討されているところであり、先行きが不透明と言わざるを得ない。

財政的な不安については、よく言われるように平成17年3月まで合併すれば、いろいろな財政面の優遇措置があるので、この活用を検討した方がいいと言える。

また、合併後の税などについては、合併協議会の中で協議し、決めることとなるのだが、これも合併特例法による特例措置であるが、例えば、税の不均一課税を行うことで調整するということもできる。

- 住民

合併の枠組みについて、入善町の総意は議会で決められることとなるが、他市町の動向を把握しているなら教えて欲しい。

- 町長

今のところ、黒部市、宇奈月町、入善町については、合併するという方向で話しを進めている。ただ、魚津市は、滑川市との合併という話があるため、まだ分からない。また、朝日町は、町長の意見がはっきりしておらず分からないが、近いうちには、ある程度ははっきりするのではないかとみている。

魚津市の出方や朝日町の出方で、枠組みについては、まだ、はっきりとしないところがあるが、今のところ、入善町では、2市3町を一つの目標と考えている。

- 区長会長

7月の各地区の合併懇談会において、いろいろな意見が出て、これに対して町がどのような回答をしたのか教えて欲しい。

具体的に挙げると、7月19日に舟見の方で出ていた意見で、昭和34年の舟見・野中の編入合併について、当該地区の住民は、苦い思いをしたと聞いているが、どのような問題があって、どのようにクリアしたのか、事情を聞きたい。

また、九里議員が篠山市に視察に行き、篠山市の合併後の動向として、行革の中で、負担が平準化し、住民負担が徐々に増えてきているといった実態や、また、ある

町の庁舎では、合併前に76人いた職員が10人に減っていることなどから、このような状況で、きめこまやかなサービスはできるのかと報告しているが、町としてそのことについて、どう捉えているか。

- 総務課長

篠山市については、合併には必ずメリットとデメリットがあるので、デメリットをどこまで我慢するかが問題ではないだろうか。

この行財政改革の中で、いつまでも今の状態を維持することは大変難しく、何を維持し、どこまでを我慢するのかを十分に検討しなくてはならない。

サービスについても、合併後の旧庁舎は、支所や地区センターなどになっており、管理部門は本庁で行っており、窓口などのサービス部門だけを行っているので、その活用方法を含め、考え方次第な面もある。

考え方だが、合併には必ずメリットとデメリットがあるので、合併の粗探しというか、デメリットだけを強調し、合併を議論するのではなく、メリットとデメリットの両方を、公平な目で見て合併を議論する必要がある。

- 町長

野中地区については、朝日町と合併すれば、昔のような一つの地区に戻るといことも言われている。舟見中学校についても、宇奈月町や朝日町の付近の児童が、昔のように通学できるようになる。

合併は、目先の3年4年のことでなく、20年30年以上先を考える必要がある。

確かに今の状態を5年や10年ぐらいある程度はやっていけるかもしれないが、そこから先を考えると、合併をして底辺を大きくし、無駄を無くし住民の負担をできる限り少なくすることが必要と考える。

- 住民

朝日町と合併すれば、今度、建て替えられる「あさひ総合病院」の建設費用の借金を、入善町民もかぶることになると思うが、合併協議会で場所等を検討できるのか。

- 助役

分かりやすく説明すると、仮に建て替えるのに100億円かかるとすると、国、県などからの補助が2～3億円、また、6割程度が地方交付税で国が負担し、残り3分の1が診療報酬などで負担することとなる。ただ、医療機器等については、一般財源から持ち出すこととなり、これは、朝日町の45億円程度の積立金で対応する予定と

聞いており、建て替えに伴う負担が合併する他の市町に及ぶことはないとみている。

これは、あくまでも見込みであり、どのようになるか分からない。合併することにより、その負担が増えることになるかもしれないが、自分の市に直接病院があるということの精神的な安心感という意味でのメリットということも考えることができる。

また、場所については、用地買収等が済んでいると聞いている。

○ 住民

ニュースなどによると、合併について積極的な自治体と消極的な自治体の差が大きいように感じる。入善町は合併推進を掲げており、合併に積極的な自治体になると思うが、合併の最大のメリットと最大のデメリットについてどのように考えているか。また、その中で一番大事にするもの、つまりメインに何を考えているか。

●町長

もちろん、国は無理に合併を進めている訳ではないが、どこの市町村も合併をそれなりに真剣に考えているように感じている。

また、今のサービス提供の水準を20年先に維持することは難しいので、少しでも今のサービスを維持できるようにと考えると、やはり合併は避けて通れないと考える。

サービスの低下を少なく、つまり我慢するものを少なくするには、合併は必要であり、例えば、施設が各地区にあるが、維持管理、建て替えを広域的なもので考える必要があり、サービス低下をできるだけ防ぐためにも、合併は避けて通れないと考えている。

また、合併によるデメリットについては、できるだけ少なくするように考える必要がある。

○ 住民

これからも情報を提供ください。

○ 住民

合併していいことは一つもないと思うが、財政的にもたないことから、これ以上悪くしたくないためにも合併しないといけなさと考える。これからは、地場産業をいかしていくことが必要であり、第1次産業、第2次産業はもう駄目だと思う。これからの入善町には、観光などを新たに作っていく必要があると考えるが、入善町の展望について町長の考えをお聞きしたい。

- 町長

人口が2万人ぐらいになり、高齢者が増えてくることが予想されているが、町としては、今の自然をいかすことが大事と考えている。水がきれいだとか、深層水を汲み上げているとか、こういったものをいかしていくこと大事である。

これからは、企業誘致などについても、合併することによって、もっと大きな輪で考えていく必要がある。その中で、入善町は、土地や水や人などが豊富にあるので、合併の中では有利な地になると思っており、このことは、若い方の定住にもつながると思われる。

農業については、見直しが今一度出てくるのではないだろうかと考えている。というのは、働くところが少なくなり、お年寄りが増える中で、何をするかを考えると、農業も一つの選択肢になると考えられる。

現在、町では地産地消を進めている中で、将来的には入善町の土地や水を利用する産業作りを考える必要がある。

またこれからも、皆さん方の意見をお聞かせ願いたい。

- 住民

合併に関しては、周りの市町の動向が一番気になる。

農業・農村については、農業の閉塞により地域社会は大変化を遂げていることは現実にあると思います。

もう少し情報を提供するように強く要望する。今のような話しは一年前にする必要があったと考える。

私は基本的にもっと情報が欲しいので合併した方がいいと考えている。

- 住民

私は市振の人と付き合いがあり、よく話しをしているのだが、合併については、市振などを加えるなど、もっと広く考える必要があるのではないだろうか。今の枠組みの対象は、富山県にこだわっているように思えるので、もっと広域的に合併を考えて欲しい。

次に、合併した後のサービスの水準について論議されているが、私の感じているところでは、今現在もきめこまやかなサービスができていないと思う。この合併に関する情報の提供についても少ないので、わかりやすく、きめこまかく、提供をお願いしたい。

- 総務課長

こまかい情報の提供は現段階では難しく、枠組みが決まり、合併協議会の中で協議が進む中で、その都度、情報を提供していくことになるので、ご理解いただきたい。

- 町長

今はじめて、富山県を越えた合併の枠組みについての考えを聞いた。ただ、合併は相手があることであり、相手からの具体的な打診なども全くないのに、いきなりは枠組みの対象に加えるのは難しいと考える。枠組みについては、先ほども述べたが、今のところ入善町では2市3町で進めたいと考えている。

- 座長

最後に、合併について、今後の計画や見通しなど、現在、分かる範囲で教えて欲しい。

- 町長

おそらく、各市町の12月議会において、ある程度、どのような形になるか話しが出て、枠組みの方向性が出てきて、遅くとも、3月議会で合併協議会を立ちあげることになると思う。

また、合併協議会には、各種団体の代表者が入っていただくので、その中でも、ぜひ皆さん方の意見を聞かせていただきたい。

閉会

飯野地区まちづくり懇談会

日時：平成14年11月18日（月）

午後7時30分

場所：農村環境改善センター

1 区長会長あいさつ

2 町長あいさつ

3 懇談会

（１） 地域課題について

○ 住民

上飯野地内にホームセンター「ムサシ」が進出すると聞いたが、その内容を聞かせてほしい。また、先に流れた大型スーパー「みった」が再進出の動きがあると聞いているがどうなのか。さらにコールセンターの社長は東狐出身だと聞いているので、誘致するとすれば飯野地区ではないか。

● 助役

「ムサシ」につきましては、10月25日に関連のコンサルタントの方4人が来町された。地元議員3名の立ち会いのもとにお会いしました。話の内容は、ホームセンターを上飯野地内に進出したいということでした。面積規模は、およそ2万坪程度ということでした。このことは町長に報告しております。この会社は新潟を本拠にする「アークランド坂本」といいますが、11月13日突然副社長が来町され、私がお会いしております。

進出を希望しておられる場所は、町の農業振興地域内の農地であり、農業振興地域の除外など法的な手続きが必要であります。正式文書での申し出があった時点で協議をしたいと考えております。

次に「みった」の件ですが、その後町のほうへは話はきておりません。

コールセンターの事です、これは情報産業です。この分野は従来のような企業進出と異なり、地元と協力しながら新しい仕事を見つけていくということがあり、説明しにくいところがあります。

現在は経済的に非常に厳しい時期であり、できるだけ初期投資を抑えしっかりした経営にしたいということを言っておられます。このため、既存の建物を利用して事業化したいという意向です。もう少しすれば、事業規模など具体的な内容がはっきりするだろうとのことです。

具体的な計画書が提出されれば、議会にも説明していきたい。

○ 住民

2点質問したいと思います。まず、海洋深層水を利用した企業誘致についてです。入善海洋深層水は市町村合併後の新川地域の共通の大きな資源として明確に位置づけ、有効活用を図るべきではないか。また企業誘致の話も聞くが、どのような企業が進出するのか、その目的と飯野地区へ及ぼすメリットは何か。町は海洋深層水を資源としてどのような評価をしているのか。

第2点目は高齢化が一段と進んでいるなか、一般病院併設の特別養護老人ホームを誘致してほしい。特別養護老人ホームの誘致が難しいなら、海洋深層水を利用した、海洋療養型の施設を設置してはどうか。

● 海洋深層水課長

海洋深層水事業については、オープン以来1年が経過しようとしている。町として今後のまちづくりの大きな要素として位置づけております。

提案のありましたように、市町村合併後の新しい市のなかでも、大きな位置づけを得られるよう頑張っていきたい。

まず海洋深層水という素材を活かし新しい事業を誘致したいと考えております。いま海洋深層水から天然塩を製造するという事業化の話が検討されております。町としましては、先行的な用地確保という思いもあります。時期が来ましたら皆様のご協力をお願いいたします。

次に海洋療養施設ということにつきましては、健康づくりあるいは観光的な面

からも人を呼ぶことのできる施設であると考えております。このため地元の皆様の要望も高いものと思っており、ぜひ実現させたいと考えております。

- 企画広報課長

一般病院併設の特別養護老人ホームの誘致につきましては、制度上病院は病院、特養は特養になっており、大変難しい。

深層水を利用した、ウェルネス施設整備は早急に取り組んでいきたい。

- 住民

昨年１０月、勤労青少年ホームで地元と商工観光課とで、園家山周辺の整備計画について協議した。また１１月には、海洋深層水施設をも含めた整備計画を要望した。しかし、地元に対し未だに整備計画の結果報告がないのはなぜか。

次に、海洋深層水もできたことでもあり、平曽川沿岸に桜を植えたらどうかと思うが検討してほしい。

- 助役

園家山整備計画については、地元との連携が一番重要である。ただ、現在整備について海洋深層水にウェットをおいたもので、再検討をしているところです。園家山周辺は観光資源も含めて産業健康ゾーンとして注目されている地域であり、ご協力をお願いしたい。

- 企画広報課長

２級河川（入善土木）に桜が植えられるかどうかもう少し調査をしたい。また、別に用地を求め桜を植える場合、地権者の同意や地元の理解が必要。土木と詰めさせてほしい。

- 住民

飯野地区の基本的な振興策を聞かせてほしい。基幹産業として、シャープが液晶テレビの生産地として、北陸地方に進出したいとの意向があるようである。また、光ファイバーを生産しているモリテックスが進出の可能性があるという。町としてこのような最先端企業の進出に対応してほしい。

- 町長

町にそのような情報があればいいほしい。企業へは出向いていき、ねばり強く誘致活動をしたい。

- 住民

飯野地区は漁業と農業を主な産業としている地域である。このような第１次産業は他の産業と比べると、所得の格差がありどうしても補助金等に頼らざるを得ないのが現実である。

- 助役

農業の振興策については、町はこれまでも努力はしてきているが、今後も行政がしっかりとしていかなければならないと思っている。たとえばジャンボスイカについては、販売の方法もあるのではないかと。さん儀等は民芸品としても価値があると思うので、農家はチャレンジしてさらに工夫をしていかなければならないと思う。チューリップについても球根を生産するということだけでなく、花を見せるなど考えていかなければならない。町は農業公社を立ち上げて、さらに充実していきたい。

(２) 合併問題について

- 住民

町の財政状況は、健全であると思うが、どうか。

- 総務課長

健全である。

○ 住民

前回 7 月の時とあまり進展がない。もう少し具体的に合併の利点と問題点をあげてほしい。町長は合併に取り組もうと決断したことを、具体的に聞かせてほしい。

● 町長

前回合併懇談会で 8 ヶ所の地区をまわったとき、合併は避けて通れないということであった。町としては、5 ～ 6 年は今のサービスを維持することができるが、20 年、30 年先は無理である。少子高齢化がすすむと、負担をする者が少なくなり、提供を受ける者が多くなる。ささえる底辺を大きくしないとやっていけない。これから地方交付税も下がってくる。合併によりより効率的なまちづくりができるので、17 年 3 月までに合併したい。

○ 住民

私は 2 市 3 町に賛成していききたい。観光という面をとらえた場合、朝日のひすい海岸、入善町のジャンボスイカ等をコースに組み宇奈月温泉に宿泊してもらうことが考えられる。入善町は合併を考えると海洋深層水一本でよいと考える。

● 町長

合併しても町には海洋深層水がある。この事業が雇用につながっていく。

○ 飯野には保育所が 2 つあるが、将来民営化するという考えはあるのか。

● 町長

将来的には必要だろうと考えている。国も民間にできるものは民間でということ。町もそのようになっていくでしょう。

○ 住民

合併に対する懇談会は今後もまだ開かれるのか。欠点もさらけ出していくことが必要なのではないか。

● 総務課長

合併後がどのようなになるのかが一番知りたいことかと思うが、今後合併協議会で協議されたことをみなさんにお知らせし、みなさんの意見を聞くなど取り組んでいきたい。

○ 住民

合併協議会等スケジュールを聞きたい。

● 町長

1 2 月議会にある程度の方向性がでてくる。町も議会も合併について前向きに考えている。どのような合併の枠組みになるかが問題である。合併協議会をできるだけ早く立ち上げ、時間的な余裕のあるなかで取り組んでいきたい。今の間は 2 市 3 町が基本である。

○ 住民

先ほどから 2 市 3 町といわれるが、私は 1 市 3 町の方がいいと思う。そうすれば町が中心にくる。

● 町長

いろいろな枠組みがあると考えられるが、1 市 3 町の取組ではいろいろな問題が出てくる。30 年という新川広域圏の歴史があり、枠組みは今のところ 2 市 3 町と考えている。

- 住民

新聞紙上で、朝日町が100億円で病院をつくと報道されている。合併した場合、財政的に影響はあるのか。今後の見通しとしてどのように考えているのか。

- 助役

病院の建設費は、3分の1は国からの支援を、3分の1は病院の公営企業会計でやっていく。病院の基準があり一部一般会計から取り入れることもある。

閉会

小摺戸地区まちづくり懇談会

日時：平成14年11月22日（金）

午後7時30分

場所：小摺戸公民館

1 区長会長あいさつ

2 町長あいさつ

3 懇談会

（１）市町村合併について

○ 住民

合併の話に興味を持っている。魚津市のこの前のアンケートでは、黒部市や入善町と合併したいという意見は30%しかないのに対し、滑川市と合併したいという意見は50%ということである。入善町は2市3町を基本に動いているが、魚津市の動きによる変化を聞きたい。

● 町長

魚津市のアンケートによると、滑川市との合併希望は50.6%、2市3町での合併は30.3%。だからといって、魚津市の方針が固まったというわけではない。滑川市もアンケートをとっているようなので、滑川市の動きも見つつ判断していきたい。今のところ入善町では、魚津市がどうなるのかを見極めている。2市3町で行うかどうかはまだ決めていないので、これから魚津市の出方を見て、市長と話し合いをしつつ進めていきたい。

○ 住民

2市3町になれば13万4千人と聞いたが、魚津市が離れ1市3町だと10万人を割る。マスコミ等の方策は10万人だが、そのあたりを考えているか。魚津市が滑川市と組みたいと考えているのなら、もっと大きな枠組みで、いっそ富山市からこちら側で合併してはどうだろうか。

● 町長

おっしゃる通り、魚津の出方によっては13万人、魚津が抜ければ8万7千人となる。とはいえ、県下で1つになるとすると、県という枠組み自体がいらなくなる。3

市3町、3市5町1村という意見もあることにはあるが、先ほどのデータを見てもわかるように、そういった意見はほとんど出ていないのが現状である。魚津市の出方によって当然枠組みは変わっていくが、町としては今のところ2市3町を基本にしていきたい。

○ 住民

魚津市の顔色ばかりうかがってはいけないと思う。魚津市には魚津市の考えがあるだろう。黒部市には新幹線の駅ができるので、という考え方もある。入善町から大きな合併を投げかけ、魚津市を引き入れるくらいでも良いのではないかと。舟橋村も新川地区の農業組合に入っている。舟橋村の人と先日話したが、あまり合併はしたくない感じだった。滑川市に町長の方から一度呼びかけてみては。その上で魚津市が入ってくるのかどうか任せるようにしてもいいのでは。

● 町長

この話は去年の12月頃に一度、首長、議長で集まって話し合ったこともあった。3市5町1村というような意見も出たが、枠組みも決まっていらないのに滑川市や上市町などに働きかけるべきではない。こちらが2市3町で進めるなら進めると立場を固めた上で臨むべきだという結果になった。我々とすれば、いずれは2市3町という枠組みだろうと考えていたが、最近の魚津市や滑川市の動きなどもあり、入善町としても、魚津市抜きで1市3町ということになれば、それはそれで話し合っていくことになるだろう。時間的に余裕はないので、いずれかの時点で枠組みをしっかりと決めなければならないが、もうしばらくは魚津市の出方を見たい。

○ 住民

いま魚津市のパンフレットを持っているのだが、魚津市の石川市長は、2市3町で合併すると、10年後に25～30億円ほど交付税が減らされるという試算をしている。そうすると毎年損をしていくのではないかと。

● 財政課長

交付税については、各市町村には財政力というものがあり、簡単に数字をはじき出せない。人口が減少したり増加したりで、入善町の場合、1人あたり10万円の交付になる。魚津市は現状からかんがみると、ちょっと強気に言っておられるのではないと思う。

- 住民

魚津市だけではなく、そういう問題やデータを全国から集めることが大切なのは。新潟県の加茂市長は、合併すると交付税が100億円減らされると試算している。こうなると、現在加茂市が独自で援助している介護やそういった援助もできなくなる。これは8月の新聞に出ていた。こういったデータを全国から集め、メリット、デメリットを十分考えていただきたい。

- 助役

地方交付税の仕組みと税金の入ってくる仕組みは違う。一定の行政水準を維持するためのお金、それが低い時に、いったん納めたお金が国から返ってくるのが地方交付税である。ただ、国に入ってくる税金そのものがなくなるとは、地方交付税も成り立たなくなってしまう。今の段階で10～20年後はどうなるか、と説明するのはあくまでも仮定の話であり、正確にお答えするのは非常に難しい。加茂市の例などはひとつの仮説であり、富山県と一概に比較することはできない。例えば国の方で10年後の交付税の算定基準ができれば、それに基づいて入善町でも試算ができると思う。

- 住民

入善町としてはまだ試算をするにあたり、仮定を立てていないのか。

- 助役

今のところしていない。

- 住民

この話し合いにしても、マスコミ等の動きを見ていても、合併ありきから出発しているのではないか。入善町は合併しないと成り立たないのか。合併すると効率化が進むと言うことで、聞こえはいいが、これはサービスの低下に他ならない。できるなら合併しない方が町民にサービスが行き渡ると思う。本当に入善町は合併しなければいけないのか。

- 町長

しばらくの間は合併しなくても今まで通りやっていけるだろう。しかし2～30年先を考えると、国からのお金が年々減り、少子高齢化が進むことが予想されるため、このままでいるのは無理だと思う。皆様方へのサービスが低下しない方向で考えた時、

合併特例債という大きなお金をいただけるのならば、やはり平成17年3月をひとつの目途として合併を進めていきたい。

○ 住民

みなさんがそう考えるなら、町民の一人として合併に反対はしない。ただ、そういう風に広域化すると、職員は、住民との話し合いを忘れがちになるということを頭の隅に留めておいてほしい。襟を正すということを忘れないでいただきたい。

○ 住民

魚津市に勤務している者だが、魚津市でも合併論議は盛ん。最近は滑川市との合併が強く望まれ、あまり2市3町という話は出てこない。理由は、例えば魚津市にとって黒部市等との合併は、下水道などの関係もあり魚津市のお金が流れていき、メリットがないことなどが挙げられる。住民も、滑川市で家を建てる者が多い。合併はもっと大局的に見て、県下4ブロックくらいでの枠組みがいいのではないか。30年後に、1市3町だと人口が6万3千人くらいに減ってしまうというデータが出ていたが、それでは合併本来のメリットがないのではないか。CATVも介護保険も1市3町で進んでいる。合併決定まで月数もあまりないが、どうか。

● 町長

まず介護保険は1市3町。CATVは1市3町。介護保険をやった時、2市3町でやろうという話が出たが、一足先に魚津市が単独で取り組んでいた。ただ、魚津市の方が負担金は高い。こちらは安い。もし合併すればどこかで線を引いて合わせていかなければならない。何十年先を見据えた枠組みを考えていくべき。ちなみに、入善町は借金面では一番健全である。

○ 住民

どこの市町村でも健全と言っているのではないか。

● 財政課長

財政力指数について、市町村の中で、極端な所は30を割っている。入善町はちょうど半分。魚津では税収が多く入っている。0.77。魚津市、黒部市は0.6台である。

積立金地方債についても、残高、借入だけでの判断は難しい。ご家庭のパンフレッ

ト内に細かい数字が出ているので、詳しくはそちらを読んでいただきたい。

- 住民

財政状況だが、例えば1市3町、2市3町、新川地域全域で行う場合、我々の生活にどう変化があるのか。大きな差があるのか。合併して、本当に変化があるのか。ただ、どうせ合併するのならば大きな合併をしてほしい。

- 町長

合併する時はあくまでも相手が必要であり、こちらだけの意志では成り立たない。

- 住民

町長自身が先頭に立って、各市町村に、みんなで合併しようと投げかけてみてはどうか。

- 町長

首長同士の話、議会の話もあるため難しい。ご理解いただきたい。

- 住民

合併にはあまり月日は残っていない。プリントを見ると、相手の顔色を見ながら進めているようだが、果たして決められた期限内で合併できるのか。合併特例債というエサがあるが、本当に10年後も保証されるのか。いずれにしても、子や孫が喜ぶような合併にしていいただきたい。

- 町長

合併する以上は、子や孫に悔いを残さない合併にしたい。これはそのための懇談会でもある。入善はどのような方向性でいくべきかなどを、今ぜひ聞かせていただきたい。また、平成17年3月というのは、国としては絶対動かせない期限であるということ、実際に国で聞いてきた。

- 助役

権蔵橋が立派になった。10年ほど経てば新幹線の駅ができる。小摺戸、新屋は新幹線のお膝元。宇奈月への便もよい。合併した時一番有利なのは小摺戸地区だと思う。

○ 住民

権蔵橋は本当に良くなった。ただ、新幹線の下に造る第2スーパー農道は影がうすくなったが。

● 助役

第2スーパー農道については現在難しい状況。町長も議会も実現するように努力中である。

○ 住民

先ほど松井さんも言われたが、2～30年後は少子高齢化社会である。次代を担う若い人たちの意見をもっと取りあげたらどうか。先ほどのアンケート協力者の内訳を見ると、2～30代の人が少ない。各世帯から若い人や女性が1人ずつでもこういう場に参加できるような機会を設けていただきたい。

● 町長

現在若い人が頑張っている例としては、商工会を中心とした青年部がある。私も2～3度訪れたが、これは2～30代の人ほとんどであり、女性の参加者も多かった。できれば若い人や女性の意見も十分に取り上げて、これからの町づくりの参考にしていきたい。

○ 住民

先日の女性議会でも、合併協議会が設立された時、女性の登用をお願いしますという意見もあったと思いますが、またよろしくお願いします。

○ 住民

合併論議でもめているが、もし合併したら津村謙さんの行事がなくなるのか。合併したとしても2年に1度のイベントを行ってほしい。また、客からお金を取って見せるのではなく、役場で経費を負担し、体育館などを利用して無料で公開してみてもどうか。それで参加希望者が大勢出てくれば良いことではないか。

● 企画広報課長

合併しても、津村謙の名前は後世に残していかなければならないと思う。

○ 住民

合併の効果や懸念事項を見ている、はっきり言って我々には難しくてわからない。我々が住みやすい町づくりをしてほしい。先ほどから聞いていると「大きいことはいいことだ」という意見もあったし「介護保険」に対する意見もあったが、一番大切なことは、将来我々住民が得をする方向を考えることであるように思う。

合併特例債は、何だかエサのようである。釣った魚にはエサをやらなくなるのでは。2市3町とか1市3町とか、そういう話し合いを越え、住民が一番得をする方向性を考えてほしい。

● 町長

その通りだと思う。20～30年先を見据えた時、今のままでは現状のサービスを行っていくことは難しくなるだろう。そのため、合併により底辺を大きくしていくべきだと思う。合併特例債に関しては、国が交付すると言っているのだから、ただける時にいただくべきだと思う。

○ 住民

先ほどから意見がたくさん出てきているが、合併は避けて通れないという感じを受けた。今日出た意見、要望を踏まえた上で、町の皆様方に合併に取り組んでほしい。子々孫々まで、合併してよかったと思えるようにしてほしい。先ほど助役さんが、小摺戸地区は将来有望になると、うまいことを言ってくださった。我々も10項目程度の要望を出したり、陳情を行ったりしている。その中であえて2つの話をさせていただく。1つは、土地改良区。新屋～上野線の通学道路400mはとても狭い。小摺戸地区の子ども3分の2が通る道なので、合併前に、子どもたちが安心して通れるようにしていただきたい。もう1つは、黒部川河川敷の整備である。ここを整備して運動場を作り、黒部、宇奈月の人も楽しめるようにしていただきたい。

● 町長

区長会長さんからこの話はよくうかがっている。子どもたちが遠慮しながら通っている現状である以上、できることから早急に進めていきたい。

○ 住民

通学路については早急に対応してほしい。スクールバスということも考えてほしい。また、農道なのでトラクターも通らなければならない。

○ 住民

青木は道路がいいから住宅が建つ。自分は一宿だが、高速道路と新幹線との関係で、一番狭いところにいる。そもそも入善にはインターチェンジがなく、道路も狭い。新幹線がどうこうと言われても一宿には8号線バイパスも、新幹線も関係ない。発展するのは高速道路から下側であろう。どれだけ権蔵橋がよくなっても、ここに住宅は建たないだろう。

また、若者がなかなか結婚しない傾向が広まっているが、このことに関してはどう考えているか。

● 助役

インターチェンジについては私も残念に思うが、今からでは難しい。10年前、国に「できないか」と聞いたことがある。だが答えは、朝日～黒部間の9km程度では難しいということだった。町も当時はそれなりにがんばったということをご理解いただきたい。結婚問題に関しては、かつて農協で結婚相談員という制度を作ったりもした。行政がプライベートに立ち入るのはどうかという意見もあるが、昨今ではこの問題に関し、背に腹は替えられないということで厚生労働省が補助金を出すという動きもある。

○ 住民

我々としても、良い合併の相手を見つけてほしい。

○ 住民

当局としても、今の意見を生かしてよい合併をしてほしい。

閉会

新屋地区まちづくり懇談会

日時：平成14年11月15日（金）

午後7時30分～

会場：新屋地区公民館

1． 区長会長あいさつ

2． 町長あいさつ

3． 懇談会

（１）市町村合併について

○ 住民

合併の枠組みは、アンケート結果では、2市3町で進めるという住民が6割以上とあるが、なぜ、ケーブルテレビが1市3町なのか。

合併したら得なのかどうか分からない。

● 町長

合併の枠組みについて、魚津市が行ったアンケート結果では、滑川市との2市の合併が、50.6パーセント、2市3町の合併が30パーセントと聞いている。30年の広域行政の歴史があり、2市3町で進めたい。しかし、魚津市がどうしても2市3町でできないといえ、その時に考えることと思う。

● 財政課長

財政状況は、予算額によって変わる部分がありますが、各市町の財政力指数は、入善町0.5、魚津市0.6、黒部市0.69、宇奈月町0.77、朝日町0.39です。指数が高いと財源力があると見ていただきたい。

特別会計を除く積立金は、入善町38億円 一人当たり13.5万円、魚津市31億円 一人当たり6.6万円、黒部市37億円 一人当たり10.1万円、宇奈月町17億円 一人当たり2.6万円、朝日町46億円 一人当たり2.9万円となっております。

一方、借入金は、一人当たり入善町3.9万円、魚津市4.2万円、黒部市4.9万円、宇奈月町7.0万円、朝日町5.2万円となっております。

- 企画広報課長

ケーブルテレビについては、魚津市はすでに開始しておりますので、現在１市３町で工事を行っています。完成後に魚津市から配信を受けるものです。よって事業主体は、新川広域圏となっております。

- 住民

収入の４分の１を占める交付税が、合併しなかった場合又は、期限までに合併できなかった場合、どれくらい減るのか。一世帯当たりどれほどか。

- 財政課長

国において、財政計画見直し中であり、はっきりしていないのが実情です。国税の４分の１が地方に入る。財政力の高い方は少ない。財政力の弱いところへ交付税が厚く措置される。入善町では、５億円程度は減と考えている。

２市３町では、２０億～２５億円減と考えられる。これは人口減と国の財政状況が原因である。

- 住民

合併でこういった効果が期待できるのか。朝日町の財政力が悪い、かつ、病院建設によって我々にどう負担になるのか。合併期限までにできないとどうなるのか。また、合併するなら入善町として、どのようなことを通したいのか。

- 町長

合併特例債の措置、その７割までの補助がある。どうせ合併するなら、期限までのほうが有利である。特例債は、６００億円ほどと聞いている。１０年～２０年先を見た町づくりを考えてやるべきと考えている。合併できないと、優遇措置が受けられない。病院は、朝日町だけでは負担が大きい。入善から３割の住民が利用しているので、そういう点からも全体で負担すべきと考える。

- 財政課長

合併した場合の、財源メリットについては、平成１２年度ベースでは交付税１１７億６千万円が、合併すると９３億７千万円となり、１０年間は合併なかったとして措置される。その後５年間で９３億円に下げる。合併で３１２億円が入ってくると考えていただければよい。

- 総務課長

懸念事項については、今後関係者が集まって協議することになる。住民が知りたいサービスがどうなるのかということは、協議会の中で話し合われることであると考えていただきたい。

- 住民

合併したら効果があるとの説明だが、合併しなかった場合の説明がない。

- 総務課長

まず、税収が下がり、現行のサービスが維持できるのは5年が限度ではないか、と考えています。合併しないと苦しい状況になり、住民がはたして我慢できるかが大きな問題です。

- 住民

2市3町と1市3町の場合では、メリット、デメリット等に違いがあるのか。

- 総務課長

2市3町では、13万人の人口規模であり、1市3町では、10万人を割ってしまい、スケールメリットが生かされない。又、交付税も減ることになる。

- 町長

現在、比較はしていない。枠組みが決定になった状況で考える方向である。現在は2市3町で考えている。

- 住民

3市3町の考えはないか。もっと大型の考えはないか。

- 町長

町のアンケートに、3市3町は、1人の回答であったと思う。魚津市のアンケートでは、3市3町は12%、3市5町は0.9%、3市は1.8%、2市（魚津・黒部）は1.8%となっている。

○ 住民

合併の効果、メリットについては、わかりにくい。広域的観点からは、メリットとあるが、老人の利便性等、どの部分を捉えるかによっては、デメリットではないか。高度な専門職は、現在いないのか。重点整備するとは、小は切り捨てることでないか。保育所の再編はどうなるのか。又、教育の立場で、中・高校の再編はどうなるのか。

● 総務課長

広域的観点では、道路計画が町の境界で途切れなく計画できることがある。証明書等は、住所の近くでとれる。高齢者用の広域バスの運行もできるのではないか。

● 教育長

合併までは、町教育委員会が進めていく。合併の場合には、協議会で話し合われることである。近くに学校があるのに、遠くの学校に通学している現状があり、合併に向けては、通学区域等が協議、決定されるものである。

● 総務課長

現在も高度専門職員はいる。しかし、行政の現状では、人員の面から専門的業務だけを行っていない。大きくなれば、専門的な資質を活用できる。

○ 住民

合併になると、保育所のことが心配だ。

● 町長

少子化になっていくので、効率を考え、統合を考えていく時期がある。しかし、通園の利便性を考えていくべきである。14保育所で、200名を切っている現状で、いい方法を考えていく。又、皆さんの意見も聞かせてほしい。

○ 住民

合併で、効率的な行財政運営により、人員削減ができると思うが、2市3町や1市3町におけるメリットをもっとPRしたらよい。

● 総務課長

前回配布した資料で人件費の削減を報告すると、首長は、20人が4人となり、職

員は、１７１０人が１３１２人となる。合併してすぐにその数値にはならないが、自然減等、いずれその数値に落ち着く。

○ 住民

朝日の病院は、１００億と聞く。合併すると借金の償還は、合併した住民の負担になる。ならば、建設場所はもっと考えるべきでないか。建設場所等については、入善町が関わってはいけないのか。

● 町長

土地は、朝日町が確保した。以前、下新川３町の真中あたりでできないか、朝日町長と話し合ったことがあるが、すでに土地が準備されており、又、合併の準備もしていないのに、意見を言える立場にない。

○ 住民

町長に聞きたい。２市３町か、１市３町かを表明してほしい。

● 町長

２市３町は、一つの枠組みと考えている。相手がいやならしょうがない。その時に考える。

（２） 地域課題について

○ 住民

下水道工事が進んでいるが、入札状況をみると厳しい落札でないか。業者では、検査対象はきちんと施行し、それ以外は甘くなっている感がある。工事の従業員の給与にもひびいているときく。町にとっても影響が出てくると思うが。

● 財政課長

下水道工事の入札状況については、予定価格を公表している。オープンで、業者の競争原理を競うための公表である。検査、監視員不足と言われるが、OB等も配置し、検査体制の万全に努めている。入札については、今後も厳重に行っていきたい。企業の経営は、人件費等に厳しいものがあり、減益となっている。今後は、税収にも影響

がある。不良工事や施工について、疑わしい点があればご連絡いただきたい。

閉会

梶山地区まちづくり懇談会

日時：平成14年11月25日（月）

午後7時30分～

会場：梶山地区公民館

1. 区長会長あいさつ
2. 町長あいさつ
3. 懇談会

（1）市町村合併について

○ 住民

先ほど説明のあったアンケートについて、合併を前提とした内容だが、実施した日はいつか？

- 総務課長 第1回合併懇談会の10地区で実施したものである

○ 住民

よくわからないといった人が少なかった事に対してびっくりした。

合併特例法は17年3月31日がタイムリミットであるというのは国の意向である。国には金を出したくないという思いがあると思う。国がそういうのはおかしいと思うが、行政というのは顔が見えて声が聞けるのが行政でないか。合併するとますます声が届きにくく顔が見えなくなるのではないか。町職員の減少と町議会議員の減少により意見を反映できなくなるのではないか。先がみえないのではないかとおもう。

地方交付税が減るという事に対して、国が集めた税金を削減するというのはもってのほかではないか。

次に合併で地域が活性化するのかどうか。その展望はどうか。合併する事で財政危機から脱出できるのか。

また合併に関する住民投票についてどう思うか？

● 総務課長

「きめ細かなサービス」に対しては、職員の数も減り、議員の数も減ったのでは、住民の意見が反映できないのではないかという不安もあるとは思いますが、先に合併し

た市では行政モニターや公聴会の回数を増やす事でサービスの充実を図っている。また元の庁舎を残し、サービスの低下を防いでいる。協議会の中でも十分それは申し入れしていくことにより、サービスの低下を防いでいきたい。

- 町長

住民投票については町では考えていない。8箇所に足を運んだ結果、反対と言われた方はほとんどいなかった。アンケートについても参加者のほとんどが、合併は避けて通れないことであるという回答になっている。

21日と22日に報道された朝日新聞の2市3町のアンケート結果、魚津・黒部・朝日・宇奈月に回答人数の割合はほぼ同数である。全員回収は不可能だとも思うので前回のアンケートを重視していきたい。

- 財政課長

国のほうで地方財政計画を廃止するということが議論されているという報道があった。国税から地方へというのが交付税の考え方で、交付税等については国から小さい町村へは手厚く交付されている。

人口の減少、税収入の減少。国も経費を削減するが地方も削減して欲しいというのが国の考えであると思う。合併と財政計画を見比べながら進めなければならない。

共通する部署、ここにいる総務課、企画、財政などを統合していく事により削減できる部分（人件費）を住民サービスにあてられるのではないかと考えている。

- 住民

報道によると滑川は魚津との合併を要望される方が多いと聞いているが担当の方はどう思っているか。

- 総務課長

同じ滑川市の方でも魚津市側の方は魚津と合併したい。富山市側の方は富山と合併したいと言う意見だと聞いた。

- 住民

合併した場合、市役所の設置場所はどこの予定か。

- 町長

枠組みが決まらなないと決まらなであろう。誰もが自分の所へ持ってきていたいと思っていると思う。枠組みが決まる事で、ある程度のことが決まってくると思う。3市3町という意見もあれば、3市5町1村という方もあれば、3町だけという意見もあるのでまだ先の話である。

- 住民

2市3町で合併すると住民サービスは行き届かないと思う。

合併に関しては人件費の節約が一番のことだと思う。国がどれだけ借金をもっていようが、誰がその借金を作ったのか。町が借金をしたとしても住民が借金したわけではない。役場はまともな仕事をしているか。税金で生活しているのだから人件費の削減は賛成だが、本当に課長達は合併に賛成しているのか。心から願っているのか。建前で言っているのではないか。立場上賛成しているのではないか。

それと合併した場合名前はどうか。

- 総務課長

前回7月に人件費の説明はしたので今回は省いた。前回のパンフレットを見てください。

今後町はどうか 合併協議会を組織して その中で意見を述べて行きたい。
町の名前はまだ先の話である。

- 住民

最初に質問をした人が間違っている。合併の話の一番初めにでてきたように合併は自己責任である。自分たちが負担しなくては受益はない。住民が行政に甘えてしまった。税金を納めなくてはその受益は受けられない。国から町から借金ばかりである。自分達が返さなくては誰も返してくれない。サービスが悪くなっても仕方がないではないか。17年までに合併した時に、日本の8割は合併するだろう。地方交付税が今の金額で10年間保障といっているが誰が保障してくれるのか。日本は、少子高齢化で企業は中国へ出て行っている現状だ。厚生年金がボーナスからも引かれる。今直接税が上がらなくても社会保険料等でいろいろな面でお金が引かれる。

この先、税金はどんどん上がるであろう。地方交付税は10年間保証されるというのは誰が保証してくれるのか。地方交付税が10年間保証されるのは何か担保があるのか。

- 財政課長

地方交付税が保証されるというのは、地方の財政を補填しますという捉え方である。誰が保証するのかというのは、国民の税金と企業のお金だと思う。10年間地方の財政を保証されるという事だと思うが自らで補填していかななくてはならないと思う。

- 住民

税金が上がる事が前提で地方交付税の保証が成り立つのではないか。

地方交付税が保証されるなら、合併して債券を発行する事によってまた箱物を作ろうとしているのではないか。

- 財政課長

国の財産を潤すという意味では税があがる事も考えられるが、国がもっている財産の処分もあるだろう。今回の財政計画の中には、既存義務的経費を削減してということもある。箱物という事も言われましたが、必要最小限で最小経費でということで、当然補助も下がってくるだろう。

- 住民

国には財産などない。国に財産があれば借金などしないだろう。

- 助役

2市3町で合併をしたいということで先般の選挙で町長が再選されました。その方向で合併をしたいということで皆さんの意見を伺いたいという今日の懇談会です。

日本の社会は成熟社会である。これからは今の水準をどう維持するか。我慢をするところはしていかななくてはならない。

地方分権というのは 自己決定する地方自治である。自分の意見を言う時には基盤が必要である。スケールメリットの中で行う事が、少子高齢化に対する人口減に対する方策である。財政は厳しくなるが、たとえばゴミであるが、一人一人が我慢をすることによって削減でき、経費も減らす事ができる。お互いに考えていかななくてはならないと思っている。

借金の問題は確かに大変な問題である。しかし国は借金をしてでも補填しなくては景気が回復しないという思いで借金の残高が増えている。箱物ばかりつくるのではないかという懸念もあると思うが、先例の轍を踏まないように、皆さんの意見を反映させるためにこの合併懇談会で議論してほしい。それが、合併懇談会の意義だとも思う

のでどんどん意見を出してください。

○ 住民

合併協議会というのは2通り（任意・法定）あるということだが、15年6月の設置という見通しを持っておいでると受けたが朝日新聞など読んでいると富山・東京・岩手が「0」とであると報道されていた。

議会等で審議され、協議会が設置されて、そこで各界の方々が住民の意見を聞かれ、協議されて進めていかれると思うが、ほかの2市3町の動きもどうなっているのか。また、住民投票によってうんぬんと合併のことが協議会との関係はどうなっているのかお聞きしたい。

● 総務課長

先ほどは17年3月までに合併するという事を前提で説明した。

最低22ヶ月が必要である。遅くとも15年6月に立ち上げないと間に合わない。そういったことを考慮して、逆算して説明している。県下では立ち上がったという事は聞いていない。12月議会3月議会での議決がみられるのではないかと聞いている。この後の12月議会の一般質問等で明らかになるのではないかと聞いている。

● 助役

住民投票は 間接民主主義（議会）を通して考えているので、議会が住民の代表意見であると思っている。優劣がつかない時の手段として住民投票を考えている。

● 谷口議員

12月議会終了までに、3町あるいは1市3町で任意の協議会を立ち上げないか。3町の議会の中では協議会が立ち上がっているが、公の中で、協議会をたちあげようではないか、仮でも良いから任意の状態で立ち上げ、来年3月までに法定協議会を立ち上げて行きたい。と考えている。法定協議会が立ち上がったからといって、イコール合併ではない。枠組みが出来ない協議会はできないし、皆さんへの説明できないし皆さんの意見も聞けない。任意で協議会を作って早く皆さんとともに話し合える環境にしたい。

○ 住民

町は2市3町と基本的な考えで進められているが、簡単に受け入れるわけには行かないと思う。というのは、ほかの方法もあるのではないかと、思うからです。アンケートの数字でも圧倒的な数字を占めていると言われるが、頭の中が白紙の状態です。ちょっとだけ説明をうけてアンケートに答えていると思うので、よくわからないで答えていたのではないかとと思われる。住民がある程度勉強した今、無作為抽出でもいいからもう一度アンケートの実施を考えてもらえないか。入善町の皆さんはどういった考えをもっているかと皆さん方が知った上で、協議会なりを立ちあげるとか進めていったほうがいいのではないかと。その方が納得いくと思う。いまのままだと役場に強引に押し付けられているような気がして仕方がない。

● 総務課長

アンケートについての意見がまた出ましたが、町長は選挙戦を通じて2市3町の枠組みがよいとの感触があったということであり押し付けているのではない。町長が表明しておいであることからこのような形で進めている。アンケートの数が増えてもおおよそ変わらないと思う。

今まで終わった5会場では、早く進めて欲しい、町の方針で進めて欲しいという意見が多かったので3月に間に合わないということもあるので、合併の是非と枠組みをどうするのかというアンケートはもうしない。

協議会で協議する内容のアンケートは必要と思う。

○ 住民

2市3町がいいとか悪いとかいいとかと言っているのではない。いろいろな組み合わせの可能性を考えてみて、その上で、2市3町が一番いいと言うことで進めるというのであれば、納得もいくが。

● 総務課長

枠組みにつきましては、今までも出ておりますが町長のほうから答えてもらいます。

● 町長

枠組みがどことなるかわかっていない。もうしばらく滑川魚津の出方を見たい。ただしタイムリミットがあるのでぎりぎりになれば決断も必要だと考えている。その段階で、一定の枠組みで立ち上げる事も必要だろう。まだ、枠組みを決めるべきではないと考えている。今すぐ立ち上げて生じる問題もあるので、12月議会3月議会まで

には決めていきたい。

- 住民

アンケートの結果をみると、20代30代の意見が少ないような気がするがこのままで進んで良いのか。

- 町長

私も、その点に関しては、残念に思っている。商工会の青年部が中心となって、職業男女を問わず、いろいろな方が50名くらいのメンバーで「いいまちをつくろう」を構成し、勉強会を開いている。町もその意見を参考に進めて行きたいと思っている。是非若い人たちの意見も参考に挙げていきたいと思う。

- 住民

資料の10ページに合併は必ずしなくては行けないか？とQ & Aにあるが、やらなかったらどうなるのかという事と、合併したところと比べると惨めな思いをしなくては行けないと書いてあるが、日本には義務がある。国には忠誠を誓い、税を納めなくては行けないという義務がある。各地方行政の中で、赤字というものがあるが、「合併すると、地方交付税があり、赤字から脱却できる」と書いてあった。合併すれば赤字から脱却できるという可能性があるということは素晴らしい事ではないかと思う。

メリット・デメリットがあるが、そういうことは協議会を立ち上げてから話し合っていけばよい事であって、まず合併する（赤字がなくなる）方向へ行ってみたいと思うが、当局の方はどう考えているのか。

- 財政課長

合併すれば、赤字から脱却できるかという質問であります。先ほど質問もありましたが、行政における赤字というのは、財政運営そのものが困窮に陥ったから赤字をうむというものではない。今おられる皆さん方にだけ負担してもらうのではなく、若い方にも負担してもらってもいいのではないかとされるものだけに起債を起こしている。それが、累積赤字となっています。合併の建設計画の中で、今後どういう町づくりをするかを考えて、財政計画をどうしていくか考えていかねばならない。今行っている事業を含めて、これからの投資的なものをどのように計画的に位置づけていくかが一番大切なことではないかと考えている。それらが、メリットになるかデメリットになるかは、協議会が立ち上がってから、いろいろな建設計画や財政計画を立てな

くてはならない。これは、表裏一体のものであって、別々に立てていては、破綻する元になってしまう。一体化して行うことで将来的な町の負担のありかたを問いながら計画作りを進めていかななくてはならないと考えている。

○ 住民

入善町長が他の地区では 合併に進めと言う意見が多かったと聞くが今日の櫛山では合併に進めという話にはなっていないが町長はどう思っておいでるか

● 町長

反対という意見はなかった。町に対する心配はたくさんあるということがわかった。今のサービスの低下を懸念されていると思う。お金の話や職員の話も出ていたが、人数は減らせるところは減らす。しかし、福祉等の出先が必要なところは残っていくと思う。住民サービスの低下を招かないように進めていく。合併したからといって学校・保育所がすぐに合併されるわけではない、将来的な展望をみて合併してから5年10年かけて進んでいくと思うし、どう町づくりしていくかが課題である。

○ 住民

これは、お願いであります。若い人の参加が少ないという意見があった。確かにそうである。町当局がどのように若い人をこの問題に引き込んでいけるか。アンケートの回答をみてもほとんどが50歳代以上である。若い人の意見が将来を考える上で非常に大切である。若い人を巻き込んでいけるようにすすめてほしい。

○ 住民

農協青年部、農協女性部とか若妻会等をとおして、若い人に意識をもたせて欲しい。

● 町長

商工会の青年部が中心となってということで、商工会だけが立ち上げているわけではない。いろいろな職種の人が集まっている。将来的には自分たちの町だということを十分認識してもらい、若い人の意見をおおいに取り上げて行きたい。どんどん若い人に参加して欲しい。

閉会

横山地区まちづくり懇談会

日時：平成14年11月29日（金）

午後7時30分～

場所：漁村センター

1 区長会長あいさつ

2 町長あいさつ

3 懇談会

（１）市町村合併について

○ 住民

合併となった場合、国道8号までのアクセス道路の整備をお願いしたい。

● 町長

合併協議会で、是非申し入れしていきたい。

○ 住民

合併に賛否両論がある。若い人の関心が薄い。過去からして合併になると西高東低になっている。

● 町長

若い人、特に商工会青年部が中心になって話し合いをもった結果、36名が合併が必要、合併の必要なしという人がゼロであった。

町の将来のことを考えて今日のような場に出てほしい。

成人式でもアンケートをとってみたい。

2市3町、1市3町の要望が多い。

メリット、デメリットはあるが、少しでもデメリットを少なくしていきたい。

舟見中学校は、このままいくと廃校だが、合併すれば昔の組合立のような方法も（朝日、宇奈月を含む）考えられる。

○ 住民

首長に温度差があるが、町はリーダーシップをとるのか。

- 町長
あります。しかし合併するとすれば話し合いをしていかねばならない。
- 住民
それぞれに各庁舎があるが、1カ所に集中するのか。
- 町長
連絡所等のような名前で残っていくとおもう。
管理部門は1本化、現場、サービス部門は残ると思う。
- 住民
将来、新庁舎も必要だが借金が心配。
- 総務課長
庁舎は、合併特例債で実施されると思う。
- 住民
病院の料金格差はあるのか。
- 総務課長
格差はまったくありません。
- 住民
一般会計への影響は。
- 総務課長
特別会計だから別である。
- 住民
全国市町村会では下火なのは。

- 町長

合併に反対ではない。国からの無理強いには屈してはいけないということである。

- 住民

スケールメリットは試算されているのか。

- 総務課長

特に試算はしていないが、歴史的、文化的つながりも加味していかなければならない

- 住民

魚津市民のほうが負担が高い。1市3町が得策ではないか。

東西線の道路はいい。しかし、海岸線は悪い。

右肩上がりの時代は終わったが、是非実現に向けて頑張してほしい。

ケーブルテレビの魅力はない。広報等を廃止するのであれば、加入の必要があるが。

- 町長

現在の基本スタンスは2市3町である。

今から1市3町という話にはいかない。

湾岸道路は、従来の意味合いの道路ではなく、もう少し海岸よりのシーサイド道路構想も考えていかなければならない。

- 財政課長

合併にあたっては協調できるところはするが、基盤は大きくもっていきたい。

- 企画広報課長

ケーブルテレビは光ファイバー等を利用した新しい情報ネットワークシステムであります。

高齢化社会への対応として、高齢者家庭や一人暮らし老人の安否確認システムや防災情報システムなど暮らしに役立つ利用の検討を行っています。広報、議会だよりを無くすることは100%加入ならばともかく、今すぐ無くすることはできない。

- 住民

財政危機は理解できる。職員も高度化・専門化が必要。これに伴って職員数の減も必要。住民の立場に立った早急な合併を望む。

- 住民

参加者に若い人が少ない。町でも参加するような体制をを考えるべき。
婦人会も少ない。多いのは福寿会だけである。

- 助役

最終的には議会が決定します。

若人の出席は悪いが、人生経験のある方の意見も大事である。

合併は、地方分権社会であり住民自らが決定すべきことである。

- 住民

合併へのスケジュールはどうか、

- 総務課長

合併協議会で相談し、最終的には議会が決定する。だから町にも、議会にも意見を言ってほしい。

- 住民

高齢者は合併に、賛成の方が多い。

総合計画の時には全世帯のアンケートがあったが今回もこのようなことをする考えはあるのか。これは要望である。

職員が減少するが、議員の任期に特例があると聞いたがどうか。

2市3町では、魚津市はハムレットの状況だと思う。3町でキャスティグホートをとっていくのがよいのでは。

- 総務課長

アンケートの実施については、建設計画に取り入れていくのも方法かと思っております。議員数は、現在2市3町で92名だが、合併すると法定では34名になります。

任期の特例は2年の延長があります。特例の方法もいくつかあるが、合併時に決定すべきことと思っております。

- 町長

滑川市との合併賛成は少数。枠組みは2市3町が基本であると思う。

- 住民

公共事業、特に下水道事業は停滞しないように。

- 町長

停滞はないと思っているが、合併すると入善・朝日間の枠組みの変更は、同じ市ということであるかもしれない。

- 住民

現在の町財政状況は。

- 町長

予算の3分の1が住民負担、外は国や県の補助金である。子孫に借金を残さないように気を付けて執行に当たっている。

閉会

舟見地区まちづくり懇談会

日時：平成14年11月14日（木）

午後7時30分～

会場：舟見コミュニティ公民館

1. 区長会長あいさつ
2. 町長あいさつ
3. 懇談会

（１）市町村合併について

○ 住民

2市3町で合併した場合、舟見保育所、ひばり野小学校、舟見中学校の位置づけをどう考えているのか。

また、町営バス「のらんマイカー」の継続はあるのか。

● 町長

学校の関係については、今すぐに何かするという事は考えていない。これについては少なくとも5年から10年かけて、状況を見ながら検討していきたい。特に心配なのは舟見中学校のことと思うが、人数が少なく、単独校での運営が難しいということになれば、将来的に、組合立で運営していた時のような姿に戻ることも考えられる。保育所などについても同じような考え方で進めていきたいと思う。

町営バスについては、広範囲でサービス提供ができるような方向で考えていきたい。

○ 住民

これらについては、逐次、情報提供をしていただきたい。

○ 住民

愛本地区の小学生をひばり野小学校へ入れることなども検討して欲しい。また、舟見保育所の整備については、平成16年ごろから調査にはいると聞いているが、将来的には愛本地区の子供達も入れる方向で整備を進めてもらいたい。

● 町長

これについては法定合併協議会の中で、将来的な展望にたって協議をしてい

きたい。現状では宇奈月町の子供が、ひばり野小学校を横目に見ながら通学している。このような無駄を省き、効率的な方法を見出していくことが合併のメリットであると考えている。そういうことを十分に考えながら、今後の保育所や学校の運営を検討していきたい。

○ 住民

アンケート結果などを見ると、入善町は合併について肯定的であると感じる。しかし、魚津市の動向などがよく分からない状態である。そこらへんの状況などを聞かせてほしい。

● 町長

枠組み等の話については、まだ首長同士では話し合っていない。魚津市は明日11月15日に、合併に関するアンケートの結果を議会に報告すると聞いている。魚津市がそのアンケート結果だけで枠組み等を判断するのかは分からないが、入善町としてはあくまでも2市3町の枠組みを基本として考えていきたい。但し、魚津市が2市3町の枠組みに入らないとしたときは、それなりの判断が必要であると考えている。

○ 住民

魚津市の判断を待っていたら、平成17年3月までの合併に間に合わないのではないか。

● 町長

期限があることなので、近いうちに枠組みの話が出てくると思う。

○ 住民

前回の合併懇談会の時から2市3町の合併を強調しているが、何か特別なことでもあるのか。大きな合併になると、舟見地区が取り残されていくのではないかという心配がある。個人的には1市3町の方が良いと思うが、どうしても2市3町にこだわる理由を教えて欲しい。

● 町長

先ほどの説明でもあったように、30年余りある新川広域圏のつながり等を考慮して、今のところ2市3町の枠組みで進めていきたいと考えているので、ご理解願いたい。

○ 住民

新川広域圏のつながりなどは、あまり大きな問題ではないと思う。舟見地区の住民としてどういう合併をして欲しいかというと、あまり大きな合併は好ま

しくないと考えている。あくまでも個人的な意見だが、大きくても1市3町が限度ではないかと思う。

○ 住民

私も1市3町の方がまとまりがあって良いと思う。魚津市が入ると黒部市との綱引きが始まり、郡部の方が取り残されていくような感じがする。確かに魚津市が入るとスケールメリットを生かすことができるが、まとまりの点から言うと、黒部市がリーダーシップをとっていった方が良いと思う。先ほどからの説明を聞くと2市3町でも良いかと思うが、この1市3町も視野に入れて検討してもらいたい。

また、日本の各地では、住民投票によって決めるという方法もあるようだが、入善町では実施する考えはあるのか。町長の考えを聞かせてほしい。

● 町長

1市3町の話については、舟見地区の意見として十分に聞いておきたいと思う。

住民投票については、今のところ考えていない。

ここに前回の懇談会の結果があるが、若い人の参加が少なかったことを大変残念に思っている。そこでアンケートをとってきたところであるが、前回のアンケートでは、約7割の人が合併を推進するという結果が出ている。町ではそれも一つの判断材料として合併を推進していきたいと考えている。

○ 住民

市町村の合併について話が進められているが、農協関係に置いてもアルプス農協などの大同合併が行われている。その内容を見ると、合併後に地域格差が発生するなど、パンフレットに出ている懸念事項が必然的に表面化してきている。そういう中に置いて、農業、商工業、漁業関係などの連絡、連携をどのようにしていくか聞かせてほしい。

● 総務課長

合併するときにはさまざまな懸念事項が出てくるが、それらをどう解決していくかということは協議会の中で話し合われることになる。おそらく他市町からも同じような懸念が出てくるのが予想されるので、その時には十分に協議を重ねていきたいと考えている。

○ 住民

舟見地区では、昔、舟見（町）野中・山崎・愛本（村）の1町3村の合併を望んでいたが実現できなかった経緯がある。さまざまな歴史的経緯を踏まえると、合併後には舟見地区を中心とした地域づくりが理想ではないかと思う。特

に学校に通う子供達については、合併によって町の区割りが無くなるのだから近くの学校に通わせてやるのが一番ではないか。そうすれば人数が減っている学校も成り立っていくのではないかと思う。

- 教育長

今のご意見については、法定合併協議会の中で協議されることになる。そこでは当然通学区域の見直しなども話題になると思われる。いつの段階で実施されるかは協議の内容によるが、もし、しばらくは現状を維持するということになれば、新市の新しい教育委員会において決められることになる。

- 住民

舟見地区は取り残されるのではないかと、という声が出ているが、これは決して舟見だけでなく、他市町においてもそのような地域はたくさんあるように思う。そのような山間部の地域を横のラインで結ぶ幹線道路を整備し、さらにそこにレジャー施設などを誘致してみてもどうか。

合併すると取り残されるなどという意見ばかりが出ているが、合併のメリットとして明るい希望が持てるものはないのか。

- 町長

朝日～魚津間の大規模林道についてはすでに着工しており、今後も継続して整備を行っていく。これについては、国土交通省の方へ陳情に行き、手応えのある返答をもらっている。この林道は、最終的には大山町まで延びる計画になっている。これを山間地を結ぶ横のラインと位置づけることができるのではないかと思う。

- 住民

北陸随一の遊園地を誘致してくるなど、皆さんが夢を持てる話にはできないのか。

- 町長

舟見地区の開発としては、将来的に舟川貯水池の建設がある。舟見山や負釣山などを核にした観光スポットのビジョンが示せれば、法定合併協議会の中などで話し合っていきたい。

- 住民

市町村合併に関して、首長同士での会議などをしたのか。したのであればその時の雰囲気などを教えて欲しい。

また、合併したとしても財政的には依然厳しい状態が続くと思う。そういうときは行政でボランティアを募り、各地域ごとに組織化していけば良いのでは

ないか。

- 町長

5人の首長がそろい、正式な会議方式ではないが、合併の話はしている。

将来的には、ボランティアなどの協力体制を整備することが必要になると思う。特に福祉については、近いうちにボランティアのお年寄りがお年寄りの面倒を見るといった時代が来ると思うので、それに向けた体制づくりが必要ではないかと考えている。

- 住民

舟見地区では融雪装置の管理などをボランティアで行っている。町当局においても、町に関連した仕事のいくらかは住民ボランティアで行う、といった方法について勉強をしていってもらいたいと思う。

- 町長

わかりました。

融雪装置に絡んでであるが、舟見地区は他地区に比べると雪が多い。これから雪の季節を迎えるが、除雪などにおいて引き続き皆さんのご協力をお願いしたい。

- 住民

県道の融雪装置における水の吸い上げ料は無料だが、町道は有料となっている。管理費等を含めると約60万円かかるので、舟見地区ではボランティアで対応している。そういう事実を踏まえ、合併の時の協議に臨んでもらいたい。

合併の効果ということで7項目ほど出ているが、そのうちの6項目についてはこの舟見地区には関係ないように思う。強いて言えば、3つ目にある「公共施設の統合による重点的整備」が関係してくるのではないかと。ここでは効果となっているが、統合については計画的に行って欲しい。今回の合併は、「山村の切り捨て」とも言われており、ぜひそうならないように配慮して欲しい。

また、舟見山整備事業については行政だけに頼ってはダメということで、今後地元でも動いていくが、そちらの対応もきちんとお願いしたい。

- 町長

今の話については、十分に聞きたいと思っている。

公共施設の統合については、しばらくは現状を維持していくものと考えている。しかし、10年から15年後、既存の施設が老朽化してきたということになれば、ある程度の統廃合は行われると思う。

舟見山の開発については、舟川貯水池ができれば一変するはずである。ということも踏まえて皆さんの意見を聞きながら、観光スポットなどとして見て

いくことも必要と考えている。

○ 住民

合併を前提にして動いているわけだが、平成１７年４月から新しい市になると仮定する場合、町の長期計画の中での前倒しなどはあるのか。そこらへんを踏まえて、町の方向性などがあったら聞かせてほしい。

● 町長

町は昨年スタートさせた総合計画を持っているので、まずはこれに沿ったまちづくりを進めていかなければならないと考えている。計画の前倒しということについては、合併前にすべき事業か、合併後にすべき事業なのかということ、合併協議会の中での協議等を踏まえながら、町の方で判断していきたい。

○ 住民

先ほど合併懇談会でのアンケート結果の説明があったが、入善町としては約７％足らずの比率からの結果しか得られていない。合併は町を左右する大きな問題である。町民の全体的な考え方を反映させるという意味でも、今後もう少し幅を広げて、再度アンケートなどをとるという考えはあるのか。

● 助役

住民の意見を集約するには、確かにアンケートも有効な手段である。これは私の個人的な意見も含んでいるが、アンケートをとる際には正確な情報を十分に提供し、合併についてそれぞれが共通の認識を持った上で実施しないと、その結果について必ずしも正しいものが反映されないと思っている。あくまでも参考というものなら良いが、アンケート結果が一人歩きしたり、重石になったりするというケースもある。現段階においては、首長が方向付けをして、住民の代表である議会に諮るという方法が一番良いのではないかとと思っている。

○ 住民

あさひ総合病院の建設に伴う負債について、合併した場合にどうなるのか聞かせてほしい。

● 助役

７月の合併懇談会でも何か所かであさひ総合病院の質問が出た。仮にこの建設費が１００億円とした場合、３分の１については国からの交付税と国・県からの補助金（２～３億円）、３分の１は治療費などといった病院の収益で負担、残りの３分の１が負債ということになる。建設に係る１００億円のうち、合併後、６０億も７０億も２市３町で負担することはないと思う。病院は公営企業会計の中でやりくりしているので、基本的には病院の収益の中で返済し、一度

に払えない部分は病院の債務残高として残るという仕組みになっている。

○ 住民

合併した後、交付税が減ると聞いているが、何パーセントほど減るのか聞かせてほしい。

● 財政課長

前回の説明でもあったように、交付税は国税の何割かを各自治体に均等に配分するものである。今日の北日本新聞に福岡町の石沢町長が6年間で年間1億円ずつ減っていくと述べた、という記事が載っていた。交付税は国の財政赤字の関係から、皆さんが納める税金だけではまかないきれないという状況にある。

起債という形で国債を発行しているわけだが、別に交付税の方の起債発行もしており、財政的には両方で借り入れをしているということになる。これも昨日の新聞に載っていたが、その赤字の方を各市町村の負担に回すということが諮問されようとしている。これを正式に読みとらないとどれくらいの額になるかということは見えてこない。

もう一方は、交付税は小さな市町村にとって恩恵が大きく、大きな財源のあるところには交付税が少なく配分されるという状態にあることから、この補正係数を少なくしようという捉え方がある。以前から問題になっていたことであるが、小さな市町村は自助努力が足りなかったという判断の上で、今、その措置の見直しが図られようとしているということである。

金額的に試算すれば、今の状態で人口が減っていくとすれば、2市3町全体では20億円余り減るのではないかという想定ができる。それから、合併しなかった場合に町単独で行くということになると、5億円程度減るという数字を試算することができる。しかし、財政事情というものは刻々と変わっていくものであり、試算した数字に妥当性があるかということになると、私自身も疑問を持っているところである。

いずれにしても国の財政破綻という点から、交付税が減ることは確実に言えるものと思っている。

○ 住民

町営バス「のらんマイカー」について、最近、「きららの里」と「コスモ21」の両方に停車するようになり、一見、便利になったような感じを受けるが、実際の利用者の声は「移動距離が長くなり、非常に疲れる」と言っている。一度、役場の職員がバスに乗って、現状把握をしてほしい。

○ 住民

バスの運行時間を計ったことがあるが、コースの変更前は58分で、変更後は1時間10分に延びている。利便性を図るためにコースの延長をしたと思う

が、本当に便利になったのか。

- 助役

町営バスについては、老人クラブや女性の代表など約10人の町民と、地鉄バスやタクシー会社などで構成する「町営バス運行委員会」において、バスの利便性などについて考えている。

町営バスの運行費用として約600万円つぎ込んでいる。議会などからバスを2台体制にという意見もあったが、1,000万円以上の経費がかかるり、現在の1台体制で運行している。

今年からコースが延長になった一番の理由は、市街地へ毎日行きたいという利用者の強い要望があり、ショッピングセンターや駅前、サンウェル等に必ず寄るようにしたためである。その結果、舟見地区の方にとっては、バスに乗る時間が増えたということになると思う。

バスの運行については様々な意見があると思うが、財政面のことなども考慮してご理解をいただきたい。

(2) 地域課題について

- 住民

今、リサイクルということが叫ばれている。しかし、実際に排出されているものを見ると、リサイクルできないものの混入が非常に多い。リサイクル意識の向上が必要なのではないか。町の広報誌などを使って、リサイクルの必要性や分別の仕方などを分かり易く説明して欲しい。

- 住民

なぜ、今、リサイクルなのか。リサイクルに取り組まないと地球はどうなってしまうかなどを訴えて住民の意識改革をしないと、リサイクルは進まないのではないか。

- 助役

これからは環境の時代。21世紀は環境にやさしい施策が必要であるという考えは同じである。意識の改革ということも非常に大切であり、行政はもちろん、住民の自発的な運動も大事だと思っている。

容器包装リサイクル法の改正等に伴い、来年の4月からゴミの分別を今まで以上に細分化することになっている。今月から約40か所において住民環境課の職員が説明会に回っている。舟見地区は1月開催予定なので、ぜひ積極的に参加していただき、ご提案等をいただければと思っている。

○ 住民

平成１７年度から舟川ダムの本格工事に入ると聞いている。ダムを掘ったときに出る土砂はどこへ持っていくのか。また、その活用法などがあれば教えて欲しい。

○ 住民

舟川ダムの土砂の掘削量は約１６万立米、その敷設道路などの工事で排出されるのが約４万５千立米、合わせて２０万５千立米の土砂の捨て場所として約１０ヘクタールほどの土地を、県の土木事務所は確保したいと言っている。今後、いろいろな条件についての折衝をしていかなければならない。町には、土砂を捨てた跡地の利用法について何らかの方法を考えてもらいたい。

● 助役

舟川貯水池の話であるが、先ほど、町長からの話にもあったように先日国土交通省の方へ、この舟川貯水池の建設について町長自らが要望してきたところである。また、これとは別に、先般、国土交通省の課長補佐が舟見地区を訪れる機会があり、県の職員も同席する中で、再度要望したところである。その時の話では、今、公共事業は厳しい状況にあり、特にダムの建設についてはさらに厳しい状況で、今の段階では何とも言えないということであった。

県と地元の折衝も行われているようであるが、この舟川貯水池の建設については厳しい状況にあるということも頭に入れておいていただきたい。

○ 住民

西裏線の歩道の修理についてであるが、舟見中学校から６区の端までの傷みがひどい状態である。子供達の通学路になっているので、早急な整備をお願いしたい。

● 財政課長

着工時期はまだ明確ではないが、計画には上がっている。現在、水道の工事をやっているほか、今後の下水道工事にも関連してくるので、そのへんの状況を見極めてから着工させて欲しい。

○ 住民

西裏線の歩道にある標識が、車道側に立っている。そのため、歩道の除雪ができない状態である。歩道の修理を行うときは、そのへんも考慮して欲しい。

○ 住民

遺族会の会長として、忠魂碑の周辺の整備について要望したい。現在の状況

は雑草だらけであるため、道路を引くなど、なんらかの対策を講じて欲しい。この件については、１０年前から要望しているがまだ実現していないので、何か前向きな意見を聞かせてほしい。

- 財政課長

かねてから聞いており、検討しているところである。問題は、グラウンドの跡地をどうするかということであり、それを踏まえて相対的に結論を出したいので、今しばらく待っていただきたい。

- 住民

いつまで待てばよいのか。

- 財政課長

要は土地利用計画をどのようにするかということである。合併の問題に絡み公共施設の整備等の問題が出てきているが、そういうことも想定して判断していかなければならない。造られた道路についても既得権が発生するため、簡単に撤去することはできないということもある。その点も考慮に入れて対応したい。ご理解願いたい。

閉会

野中地区まちづくり懇談会

日時：平成 14 年 11 月 24 日(日)

午後 7 時 30 分～

場所：農村婦人の家

1 区長会長あいさつ

2 町長あいさつ

3 懇談会

(1) 市町村合併について

○ 住民

現在、建設課長などに危険な箇所はすぐ直してもらっているが、合併したら、そういった対応にも時間がかかるようになるのではないかと。合併してもこれまでのように適切に対応してもらえるのか。

● 町長

合併後は、総務や検査に関するものは中心部にまとまっていくと思うが、実務に関するものは今のままで残っていくだろう。サービスが今のまま行える方向性を保っていきたい。例えば合併後に魚津が中心になったとしても、何かあるたびに魚津から飛んでくる、というようなことはないはず。消防団等の実務的なものは各地域にそのまま残っていくだろう。

○ 住民

富山県 35 市町村の中には合併に反対の立場のところもあるかと思うが、一般的には賛成の方向だろう。では賛成の市町村はどれくらいの割合になるか。また、合併後の国・県からの補助金については、合併しない時と比べてどれくらいの格差が出てくるのか。

● 総務課長

新聞等のニュースによると、合併しなくてもよいと言っているのは今のところ舟橋村くらいである。また朝日町も、新聞によると首長がまだ態度

を決めていないようである。残りの市町村はほぼ合併の意向を示している。

- 財政課長

我々も財政の運営上、起債等に対応しているが、やはり頼りになっているのは国からのお金である。サービスを低下させずに事業を進めていくということは、頭の痛い部分である。合併後、10年間は今まで通り補償があるし、その後も5年間の財源措置がある。合併しなかった場合、小さな市町村にたくさん与えられていたお金が削減されることは間違いない。事業の選択が当然進められ、人件費等の経費も削減されていくことになるだろう。

- 座長

新聞で見たところによると、舟橋村の議会は富山市に合併したいと言っていたようだが。

- 総務課長

舟橋村は、議会と当局との間に温度差があると聞いている。状況は刻々と変わっているため、確かなことを言うのは難しいが、議会と当局との間で温度差のある市町村はいくつかある。

- 住民

2市3町と言っているが、魚津市が滑川市とくっついた場合には1市3町でも良いと思うか。

- 町長

魚津市の動きがはっきりするまでは、入善町としては2市3町を1つの枠組みとして考えていきたい。ただ、どうしても魚津市が滑川市と合併するという態度をとった場合には、こちらも態度をはっきりさせなければならない。そして協議会を立ち上げ、どういう町づくりをしていくか決めていくことになるだろう。魚津市の動きがまだはっきりしていないのに、1市3町、2市3町と決めるのもどうかと思う。ただ、滑川市も富山市と合

併したいという思いがあるようだ。

○ 住民

学校、保育所問題についてお聞きしたい。

● 教育長

教育委員会の関わる範疇は幼稚園と学校である。合併協議会の中では通学区域等について協議されるだろう。我々としては、子どもたちの教育環境を整備するという意味で、合併前後を問わず努力していきたい問題である。

● 総務課長

情報公開しながら最終的に判断していく。出生率が低下し、少子化によって保育所の運営が厳しいのはどこの自治体でも抱えている問題。通学エリアの問題等についても協議会の中で話し合われていくだろう。

● 町長

合併したらすぐ保育所や学校がなくなるということはないだろう。5～10年かけて、枠組みをどうしていくか検討しながら決めていくことになると思う。また、そんなことをしたら混乱も起こるだろう。

九里議員

私は議会人の一人として、協議会の設置にしても合併するかしないかにしても、皆さんの代表として責任がある。合併しなかった場合に本当に入善町は立ちいかなくなるのか。丹波篠山市に視察に行った時、ある秘書長がおっしゃった言葉で印象的だったのが、市民の要望を本所にあげたが、そのことが忘れられていて、答えが返ってくるまでに一ヶ月半かかった、ということだ。合併すれば10年、20年ではなく、50年、100年続くかもしれない。今しっかり議論して、子どもたちや孫たちに対して、自分たちはこんなことを話し合って合併したんだよ、あるいは合併しなかったんだよ、と胸を張って言えるようにするべき。今の段階で合併がいいの

かどうかは、私もまだわからない。

西尾議員

私は合併に対して積極論者であるし、合併しなければならないと思う。また野中にとっても、合併は再生できるチャンスではないだろうか。合併によって不便になったり、保育所がなくなるといった問題は起こらないと思う。舟見と野中は縁続きであるし、同じひばり野小学校校下でもある。舟見と野中は一体感を持ち、協議を重ねていくべきだ。

○ 住民

合併して大きくなればなるほど地域の格差は大きくなると思うが、町長の考えは。

● 町長

そういう格差をなくすように、協議会で話し合いを進めていくべきだろう。保育所がなくなったりすると、今よりも不便になることもあるかもしれないが、スクールバスで対応する等の措置をとっていきたい。切り捨てということにはしていきたくない。

西尾議員

細かいところにも手が届くのが合併ではないか。

○ 住民

10年ほど前から、川の上に水が溢れるため柵をお願いしているが、一向に対応してくれない。合併して大きくなればなるほど、そうした切り捨てが生まれてくるのではないか。

● 助役

原則的には早く対応しているはず。ただ、今おっしゃったとおりなら調べさせていただきたい。合併したらきめ細かいサービスがなくなるのではないか、というお話があったが、地方分権の推進が合併の大きな目標であ

る以上、住民が主人公になるべきである。国や県に言われたから仕方なくやる、というのではなく、皆さんが自分の考えを持ち主張していくことが大切だ。これからの懇談会で、皆さんも遠慮なく意見を言っていたきたい。

○ 座長

先ほど西尾議員が、合併したら以前のような野中に再生できるチャンスだと言われたが、私もそう感じている。

● 町長

舟見での懇談会でもこの話が出た。将来的にそういうことも視野に入れていく。今は入善は入善、朝日は朝日という区分があるため、近くの学校を横目に見ながら遠くの学校に通学する、というようなことがあるが、将来的には変わっていくはず。数十年経った時、よかったと思えるような合併を進めていきたい。

○ 座長

教育の格差は生まれるか。

● 教育長

いい学校に行きたいということで、格差は当然出てくるだろう。東京あたりではそういう試みもあるようだ。ただ、その格差をなくすためには行政的にも色々な混乱点が出てくるだろう。試みはあっても、自由通学が急激に広がっていくということはないだろう。また、それが子どもたちにとって本当によいことであるのかも疑問である。

閉会